

Cisco UCS C4200 シリーズ ラック サーバ シャーシ および Cisco UCS C125 M5 ラック サーバ ノード

2RU 筐体に高密度・高性能サーバを凝縮

Cisco UCS® C4200 ラック サーバの最高密度のコンピューティングソリューションは、1 台の 2RU サイズのラックシャーシに最大 4 台の Cisco UCS C125 M5 ラック サーバノードを搭載できます。この高いサーバ密度は、エッジやスケールアウトアプリケーションのデータセンターに最適です。

C125 M5 ラック サーバノードは、AMD® EPYC プロセッサ 2 つ、最大 2 TB のメモリ、最大 6 台の SAS/SATA ドライブまたは 4 台の SAS/SATA ドライブと 2 台の NVMe ドライブで構成されます。SD または M.2 ストレージ モジュールを追加すると、起動デバイスまたは追加ストレージとして使用できます。第 4 世代の仮想インターフェイスカード (VIC) と OCP 2.0 対応のメザニンズロットは、卓越したレベルのパフォーマンス、柔軟性、I/O スループットを提供し、アプリケーションを実行します。

Cisco UCS C4200 ラック サーバは、Cisco Intersight を含む、Cisco UCS 管理ツールでシステム化、統合管理ができ、また、単独サーバとしても動作できます。Cisco Intersight はクラウドベースの管理プラットフォームで、分析機能によって能動的な自動化とサポートを実現します。高い次元の統合と自動化されたアクションを組み合わせることで、コストを劇的に削減し、解決に要する時間を短縮することができます。



利点

- Cisco UCS B シリーズ ブレードサーバや他の Cisco UCS C シリーズラックサーバで提供されるよりも多くのラックあたりのプロセッサまたはコアを必要とするアプリケーションのために、C4200 ラックサーバは 2 つのラックユニットに搭載された 4 台のノードを提供します。
- ソケットあたりのコアがより多いため、アプリケーションパフォーマンスが向上します。
- 管理サイロを新たに作成することなく、新しいフォームファクタをサポートします。C4200 は、ユニファイドマネジメントで Cisco Intersight™ で動作するか、スタンドアロンとして Cisco Integrated Management Controller (IMC) で動作します。Cisco UCS C シリーズラックサーバも同様です。
- データセンターの電力、冷却、スペースをより効率的に使用します。これによって節約でき、総所有コスト (TCO) を削減できます。

詳細

Cisco UCS C4200 ラック サーバ、UCS C125 M5 ラック サーバ モジュール、およびすべての Cisco UCS サーバの詳細については、www.cisco.com/go/ucs4200 でご覧いただけます。

機能

Cisco UCS C4200 ラック サーバは、Cisco UCS 製品ポートフォリオで最高密度のサーバ プラットフォームです。Cisco Intersight の統合により、プロセス、ツール、手順を変更せずに、この新しいフォーム ファクタを活用できます。

Cisco UCS C4200 の特徴は次のとおりです。

- 2RU のサーバ筐体に最大4 台の Cisco UCS C125 M5 ラック サーバ ノードを搭載可能。
- 各サーバ ノードには、次が含まれています。
 - 最大 2 個の AMD EPYC CPU (ソケットあたり最大 32 コア)
 - 2666 MHz DDR4 メモリ
 - DIMM スロット X 16 (CPU ソケットあたり 8 個)、128 GB DIMM 利用時には最大 2 TB のメモリ容量
 - 第 4 世代 VIC
 - 最大 2 個の PCIe 3.0 スロット
 - 24 個の SFF 前面アクセス、ホットプラグ可能なドライブ
 - C125 M5 サーバ 1 台あたり最大 6 台のドライブもしくは
 - 最大 2 台の NVMe ドライブ + 4 台のドライブ
 - 柔軟な OCP 2.0 メザニン スロット
 - Cisco 12 G 9460-8i PCIe 12 G SAS RAID コントローラ
 - 内蔵 SD カードおよび M.2 (OS//ハイパーバイザーの起動等で利用可能)